兵庫県保険医協会　姫路・西播支部企画ご案内

医院経営研究会

職員を大切にする職場づくり

日　時　9 月 13 日（土）15 時～

参加費 無　料

会　場　じばさんびる 502 会議室

（ＪＲ姫路駅より南に徒歩１分、
姫路市南駅前町 123、TEL 079-289-2832）

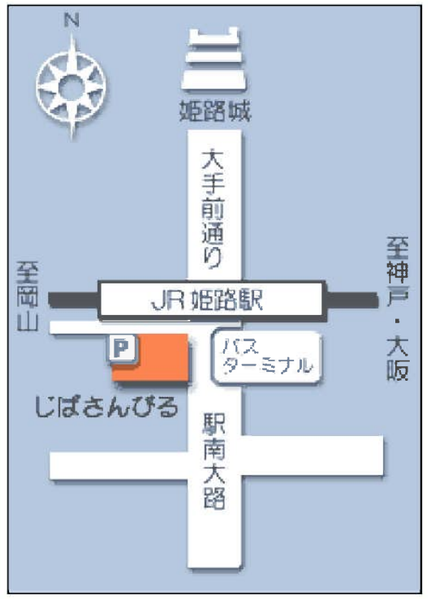
講　師　社会保険労務士・産業カウンセラー
嶺山 洋子先生

対　象　院長、家族

近年、医療機関の労使トラブルが増加傾向にあります。「労働条件通知書」「就業規則」などで、労働条件を明確にすることがトラブルを未然に防止するだけでなく、院長とスタッフとの信頼関係を確かなものとしていきます。

職員を大切にする職場づくりのために、日ごろのコミュニケーションの取り方や、組織作り、スタッフ育成のあり方など学んでみませんか。

会場地図



ＦＡＸ　078-393-1802

９月 13 日　姫路・西播支部 医院経営研究会

参　加（　　）名

地　区（　　）　医療機関名（　　）

氏　名（　　）（　院長　・　家族　）

TEL （　　）　FAX（　　）

お問い合わせは、協会事務局有本、冲野まで
(TEL 078-393-1803、FAX 078-393-1802)

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.205 2014 年 8 月 25 日発行

発　行　兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先　〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル 5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807　FAX/078-393-1802

第 29 回支部総会・記念シンポジウム

施設の活用で　共倒れしない介護を

上・多くの参加者が集まり認知症介護について考えた
左・医師、訪問看護師、ケアマネジャーそれぞれの立場から認知症介護の話題提供を行った（左上が高森先生、左下が松浦氏、右下が杉岡氏）

支部は７月 19 日、じばさんびるにて第 29 回支部総会を開催した。記念シンポジウムでは、「認知症介護の現実～家族はどこまで支えられるか～」をテーマに、室井整形外科・診療内科の高森信岳先生、有限会社もものは代表・看護師の松浦久美子氏、姫路医療生協・ケアマネジャーの杉岡真由美氏が講演し、会員や市民ら１０９人が参加した。

2面に続く

ーー1面から

松浦氏は、認知症患者が日中一人で過ごしている時をねらい、セールスの男性が家に居座っていたことが、看護師が訪問した際に明らかになったことや、認知症の症状が出ても施設への入居ではなく一緒に暮らしたいが介護への不安があるという家族の悩みなどを紹介した。

杉岡氏は、退院後も切れ目無く介護サービスが受けられるように、病院とケアマネージャーの連携が重要であることを指摘した。住み慣れた地域で暮らしていくために、認知症になる前から地域と関わり続けるインフォーマルサポートが大切だと解説。また、完治しうる認知症を見逃さないためや、本人の自己決定を尊重できるように、早期診断が重要だと訴えた。

高森先生は、現在の介護保険制度では、サービスの事業所の選択や受給が個人の責任となる問題点を指摘した上で、認知症患者と家族が無理せず一緒に生活するために、ショートステイを活用することを提案した。居住型の施設に入所した場合「もう家に帰れない」という気持ちになり、患者の心身に悪影響を及ぼす可能性がある。一方でショートステイを利用する場合は「数日経てば家族に会える」と患者は前向きな気持ちになり、家族の負担も軽減できると解説した。

また、食事や睡眠など規則正しい生活をしていれば認知症の症状は悪化しないのではないかと指摘し、転倒などからの寝たきりを防ぐための日頃の筋力トレーニングが大切だと訴えた。

総会議事では、13 年度の活動まとめと 14 年度の活動方針を採択し、支部長に宗実琴子先生が再任し、支部幹事に松浦伸郎先生（姫路市）を新たに選出した。

兵庫県保険医協会姫路・西播支部役員

【任期】(2014 年 7 月～ 2016 年 6 月）（地区・五十音順、敬称略）

＜支 部 長＞1 人
宗実　琴子（姫路市）

＜副支部長＞6 人
池内　春樹（姫路市）
正木　茂博（神崎郡）
河原　幸義（相生市）
清水　映二（たつの市）
高森　信岳（たつの市）
白岩　一心（赤穂郡・歯科）

＜幹　　事＞11 人
石橋　悦次（姫路市）
津田　賢治（姫路市・歯科）
綱島　武彦（姫路市）
西川　義規（姫路市）
古谷　素敏（姫路市）
松浦　伸郎（姫路市）
桃井　健仁（姫路市）
宇野　千里（たつの市）
京　　寿学（相生市）
宮崎医津博（赤穂市）
宮本美智子（佐用郡）

＜顧　　問＞3 人
野中　仁作（姫路市）
湯之上　茂（姫路市）
杉本　敏夫（相生市）

姫路市の子どもの医療費無料化を求める署名の回収にご協力をお願いします

姫路市議会議長様

年　月　日

中学卒業までの医療費の無料化を求める請願署名

請願要旨

「貧困と格差」の広がりの中仕事や子育てに懸命に取り組んだ不安の一つです。「アトピーをなおしてまたかったら時や、薬が効いてほしい」など、切実な声がいち早く実施した福崎町に続き続々と意見書を送っています。

「他市で出来て姫路市で出来ない」

姫路市では２０年前と比較すると、子どもの医療費の格差は広がっています。義の経済に広がっています。

私たちは、中学卒業までの子どもの命の重さは同じです。安心します。

請願項目

1　中学卒業までの医療費の無料化

氏名

※この署名の個人情報は取り扱い厳禁

中３まで医療費無料化の
署名お願いします！

２０１１年から３年間取り組んで医療費無料化の署名では、入院費の無料化を実現させることができました。

今や、右の地図でもわかるように兵庫県では、通院費も無料化にする自治体が増え、全国を見れば、群馬県では高校卒業まで医療費無料、東京２３区でも中３まで医療費無料と、大都市でも無料化を実現しています。

医療費無料化は姫路市の財政の１％弱で実現できるのです。

子どもを持つ親からは、右の地図を見て、「なんで姫路だけ３歳から医療費いるん？」「姫路市でも無料化はできるはずちゃうん？」と疑問が上がり、署名への賛同を次々にもらっています。

９月議会までに**一万筆**の目標を掲げていますので、広示ともろしくお願いします。

（第一次締の切りは７月末、第二次締の切りは８月末、それは市は議会運行による）

中中中